

神奈川県派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	経営学部	国際経営学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	タマサート大学 (タイ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Social Policy and Development program (Faculty of social Administration)		
報告書提出日	2019年 8月 30日		
留学予定期間	2019年 8月～ 2019年 12月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： () /合計 6500baht(現地で支払い)
 航空券代： () /合計 8万円
 ビザ申請関連費： () /合計 2万円
 その他 ()： () /合計
 ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

出発前に行ったことは主にアパートの予約、航空機の予約、ビザの申請の3つ。2月に留学が決まり、3月下旬に現地の大学の Academic Calendar(授業の日程表)が届いた時点で、現地の大学の周辺にあるアパートを検索し、一番近くて安い部屋を借りることにした。(アパートについては 2.1.寮、ホームステイ等への入居手続きを参照してください。)その後、Academic Calendar の日程に合わせて Trip.com(サイト名)にて航空機を予約。オリエンテーションの3日前に現地に到着できるようにした。留学ビザの申請が一番手間のかかることで、まずビザの申請には大使館のホームページから予約が必要なので、早めの予約が必要だが、必要書類の中に現地大学からの受け入れ許可証など、今回は6月中旬までに必要書類が手元に揃わなかったため、予約したのが7月の上旬であった。タイへの旅行者も同じ予約システムを使うため、渡航日まで予約が埋まっており、予約のキャンセル待ち状態であったが、奇跡的に大使館のホームページを見ていた時に予約のキャンセルがあり、すぐさま予約した。大使館は土日、祝日は休みなので、ビザの申請は平日に行く必要がある。また、自分の場合、ビザの申請をしてから発行されるまで三日間であったが、余裕を持ってほしい一週間は目安に見ておいた方がよい。

1.2. 渡航について

8/2

14時30頃に成田空港 T2 から、19時頃 ドンムアン空港 T2 に到着。
 空港からのエアポートバス(A4)でカオサン通りまで進み(50baht)、そこから徒歩 20 分で自分のアパートに到着。現地時刻で 22 時を回っており、正面玄関は閉まっていたため、スタッフに直接声をかけて、あらかじめ予約していた旨を伝えると部屋まで案内してくれた。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

アパートへの手続きは各自で済ませておかなければならないため、事前にメールでやりとりをして、部屋を予約する必要がある。自分のアパートでは、借りたい部屋の条件を伝えた時点で予約は完了する。現地では契約書を書く必要があるが、英訳が載っているのでよく読めば問題ない。初めの月は Deposit で家賃の1ヶ月分を支払う必要があるため、最低でも家賃を現金で二ヶ月分を持っていないといけない。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

渡航前に東京都の目黒区にあるタイの大使館にて事前に留学ビザを申請する必要がある。インターネットにて事前予約が必要。必要書類はタイ大使館のホームページに書いてある。また、タイの空港にて個人情報を記入する用紙があるので、そちらを記入する必要がある。入国審査を終えると、記入した用紙の **Departure** と書かれた部分を切りとって渡されるので保管しておく。この用紙は **Visa Extension** の時に使うので失くさないようにしなければならない。タイに 90 日以上滞在する場合、現地のタイ大使館にて **Visa** の期限の延長が必要。また、**Visa Extension** とは別に、90 日レポートと言う、身元を証明する書類を現地のタイ大使館に提出する必要があるが、これは一旦タイを出国してしまえばまたカウントが 1 からになり書類を提出する期限を延長させることができる。ただ、出国の際と再入国の際に **Entry Visa** を取得しておかなければならない。これは空港でもできるらしいが、**Visa extension** の必要性を考慮するといずれにせよ少なくとも一回は現地のタイ大使館に足を運ぶ必要がある。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

オリエンテーションの二日前の 8 月 3 日に、大学の OIA(Office International Affair)に行くと、そのスタッフの人が学生情報登録のためにやることを指示してくれて、その指示にしたがって情報をパソコンに打ち込んだ。オリエンテーションの日程は Facebook にて事前に知らされるので、渡航前に自分の学部のグループに参加する必要がある。その後 8 月 5 日のオリエンテーションにて学生証が配られる。

ちなみにこの大学では事前に学力を測るプレイスメントテストは行われなかった。そのため授業では他国からの留学生、タイの現地の生徒に混ざって授業を受ける。一方で定期試験のテストの日程は各学部のシラバスに書いてあり、あらかじめテストの日程を知ることができる。試験当日は制服で、学生証を持参する必要がある、中間テストと期末テストの二回テストが行われる。

履修登録期間はオリエンテーションから約一週間で、その一週間のうちに初回の授業が行われる。授業を体験してから決めてもいいが、試験日や授業時間が重複しないように自分で組み合わせを考える必要がある、不備の無いよう早めに取り決める科目を決めて、オフィスの人に確認してもらうことが重要だと感じた。また、履修登録は各学部のオフィスにて行うことができ、直接履修登録書類に必要事項を記入し、オフィスの人に提出するという形式であった。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

留学の最大の目的は語学力の向上であるため、なるべく多くの現地で他言語を話す友達を作るという目標を立てた。また、授業で理解できない点がないよう、それぞれの授業で予習復習を怠らず、授業についていけるようにしたい。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

語学を学ぶという面では、二週間で現地の頻繁に会う友達ができ、会話を英語で行うという環境を作ることができた。授業でも配布資料に目を通すことや、授業中にとったノートを見返し、予習復習をしっかりとすることができた。

今後の抱負は、授業中の発言を積極的にしていくということだ。

3.3. 今月の学習・研修目標

今月は最初の月であるため、現地で友達を作るという目標を立てたが、二週間でタイの友達と外食に行く関係を築けた。引き続き新しい友人を作り、幅広い会話をすることで、語学力の向上に努めたい。グループワークも多いので、積極的に意見を伝えていきたい。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	13:00~16:00 Management and Financing in Development and Welfare Organization
火	13:00~16:00 Globalization and Child's rights(Child and Family Welfare)

水	9:30~11:00 Social and economic development in Thailand, 12:30~14:00 Development of Southeast Asia
木	9:00~12:00 Academic writing
金	9:30~11:00 Social and economic development in Thailand, 12:30~14:00 Development of Southeast Asia, 17:00~20:00 Analysis and Evaluation of Development and Welfare programs
土	
日	

4.2. 授業について

・ Management and Financing in Development and Welfare organization

この授業はグループで話し合う機会を与えられ、各グループでいくつかのNPOに注目し、彼らが何をどのような活動をしているかをカテゴライズし、その活動が社会にどのような影響を与えているか、誰をターゲットにしているのかなどを調べていく授業である。また、タイに焦点を当てた未成年の妊娠や、ホームレス、交通渋滞などの社会問題も取り上げ、それらの問題に対してどのような取り組みが行われているか、もしくは行うべきかを話し合う。先生が生徒のディスカッションに合わせて解説を加えてくれる為、今のところ内容は全て理解できている。しかし、NPO、NGOの組織によって活動が多岐に渡ることもあり、カテゴライズをする際にイノベーションやコミュニティ開発といった、どこのカテゴリーに属するかという意見が自分の考えとは少し異なる時はある。

・ Globalization and Child's rights

この授業は20歳未満と定義された子供たちが、安全を保障された生活を送るには何が必要か、大人たちは何をすべきなのかを、実際に貧困地域を例に挙げながら教わっていく授業である。また、何週か置きに、教育など、子供の権利を尊重することを目的とした組織からゲスト講師を招き、具体的にどのようなことに取り組んでいるのかや、その地域に残る課題などの話を聞くことができる。毎回授業の終わりに感想を言う時間があり、ランダムに当てられた生徒が授業を通じて得たことを発表する仕組みとなっている。実際の事例を取り上げたCase Studyを取り扱うので、講師の話聞いていれば理解できる内容である。

・ Social and economic development in Thailand

この授業はタイを含む発展途上国に焦点を当てた文化や外的要因による経済への影響を学ぶが、需要と供給の関係や、GDPとGNPの違いなど、基本的な経済学の内容も取り扱う。この授業では、過去の経済学者の研究結果を取り上げ、発展途上国の経済が停滞する理由などを教わっていく。中間レポートでは授業内で特に気になった点を調べ、さらに詳細を掘り下げていく必要がある。個人的には、タイやその他の関連国の歴史から、タイの経済への影響を解説するという授業で、タイの歴史に詳しくなかったため、その歴史に関する情報にいまいちピンと来ない時があったが、例えばタイはタイ米を中心とした輸出が経済の中心となっており、国内生産の中で農業が多くの割合を占めていることなど、今どうなっているかの現状は理解できた。

・ Development of Southeast Asia

この授業はタイの歴史を新石器時代から今に渡るまで、何が現在のタイを形成してきたのかを事細かに学んでいく授業である。また、タイだけではなく他東南アジアとの繋がりや、ヨーロッパからの影響など、タイの歴史を通して教わることができる。内容は地理的状況を絡めた文化の発展の過程や、他地域との争いによる市民への影響など幅が広く、難しい授業ではある。各グループに別れて、タイとその周辺地域にまつわる小論文を読み、分かったことをパワーポイントにまとめたものを一週間に一グループずつ発表するという形式で講義が進んでいく。個人的には、本当に歴史の流れを学んでいるため、そこに住んでいた民族の名前や、その民族同士の交流など、覚えなければならないことが多く、理解しているとは言い難いと感じている。

・ Academic writing

この授業では基本的な論文の記述方法と構成パターン、同時に、退屈な論文にならないための読者に読ませるテクニックをいくつか教わる。自分自身のことを導入から本論と続き、結論を導いていくといった論文形式で書き表す課題など非常に興味深い授業である。毎回何かしらの話題を与えられ、論文形式でその内容について書いて提出する必要がある。また、提出した課題には教授からのコメントが直接返ってくるため、自分の書いた内容の好ましくない箇所を理解することができる。解説が分かりやすく、今のところ全て理解できる内容である。

・ Analysis and Evaluation of Development and Welfare programs

この授業では、社会問題に対して組織がとる活動の中で、その問題解決方法や需要に対する組織の働

きなどをどう評価及び改善していくべきなのかを学ぶ授業である。一例をあげると、限られた資源の中で、二つのプロセスを一つの組織内で同時に行うという効率的な同時進行を活用したタイムスケジュールの作り方など、実際に組織を運営する側に回る場合に重要なポイントをいくつか教わることができる。また、社会問題を一つ取り上げ、どのようにその問題を改善、解決していくかというプログラムを作成し、発表するという中間課題がある。純利益の計算方法などは例題を挙げて、そこに数を当てはめて実際に計算してくれたりするので、今のところは話を聞いていれば理解できる内容である。

4.3. 予習・復習・自習について

- **Management and Financing in Development and Welfare organization**
教科書を購入するので、教科書を事前に読んでおく。また、教科書内のディスカッションポイントとしてピックアップされている内容を読むことや、自分でディスカッションの場面で使えるような関連している情報をインターネットを通して調べるなどして、自分の意見をまとめておく。
- **Globalization and Child's rights**
授業形式がパワーポイントで進んでいく形式なので予習は難しいが、自分のとったノートに分からない点が無いように、要点をまとめるなどして、ノートの内容を整理する。
- **Social and Economic development in Thailand**
授業の終わりに次回に触れる内容を「19世紀の各地の経済状況」というような形で告知されるので、それについて書かれた記事にざっと目を通すが、こちらもパワーポイントで授業を行う形式なので、同じくノートの要点をまとめて復習する必要がある。
- **Development of Southeast Asia**
あらかじめ授業内で扱う記事がフェイスブックの授業ページにアップロードされるので、その記事を読んで内容をノートにまとめて予習をする。授業内では質問がいくつかだされ、あらかじめまとめておいた情報から答えなければならないため、記事を熟読することは必須。その後教授が細かく説明してくれるため、テストのためにも分かるようにノートにまとめることが大切。
- **Academic writing**
授業で取り扱ったパワーポイントの内容が、Canvasの授業ページにアップロードされるので、それを見ることで復習が可能。実際は復習というより、学んだことと照らし合わせながら課題をやるといった内容になる。
- **Analysis and evaluation of Development and welfare programs**
こちらも授業で取り扱ったパワーポイントがフェイスブックにアップロードされるので、それを見返して復習をする。また、パワーポイントには無い部分を先生が書き足すことが多いので、書き足された情報をまとめたノートも見返すとより学んだことへの理解が深まる。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居 アパート（その他： ）

電気代、水道代の使用量によって異なるが、家賃を含め月々だいたい6700bahtほどかかる。食費は日によって異なるものの、近くの安いレストランや屋台、アパートの食堂で食事を済ませると一食50bahtほどで収められる。安いところを探せば35bahtほどで食べられる場所もあるので行きつけの安い店を探すと良い。朝食のパンは好みにもよるが、おにぎりサイズのパンを1つ5bahtで売っている格安の店もあるので周辺を散策する必要あり。最初はスマホに1ヶ月350bahtのSIM契約をしておき、それでも問題なくインターネット環境を使用できていたが、他のSIM会社と契約するともっと安く済ませることもできるということを知り、そちらの"AIS"という会社のSIMに買い換えた。AISは何ヵ月間かに渡る長期契約をすると、月々250bahtで100GBまで使えるという破格の値段設定になっており、通信速度も問題なく使えるためおすすめ。

5.2. 課外活動について

基本はバンコクの都内(Siam)に出かけるか、近くのスーパーマーケットへ買い物、もしくは周辺地域の散策をすることパターンが多い。友人も近くに住んでいるので、遊ぶときは近くのレストランで長居することもある。課題が出ている場合には図書館が自宅で勉強をする。図書館では学生証を提示して映画を見ることも可能。泊まり込み旅行は今のところしていない。

5.3. 現在までの感想

二週間も過ごせば生活様式には慣れるものの、未だに辛い食べ物を食べるとお腹を壊してしまう。家から徒歩 15 分以内にスーパーもあり、生活することに不便は感じておらず、想像していたほど気温が高い訳でもなく、過ごしやすい環境かもしれない。クラスが当日に教室が変更になったり、開始時間が変わる、もしくは授業がなくなるという事態も少なくないが、人に聞くという習慣をつけることで、事務的なことではあるが他言語でコミュニケーションをとる機会を増やすことに繋がるので、そこまで気にしないで学校生活を送っている。唯一気になる点を挙げるとすれば、自分の部屋は三階にあるのにも関わらず、部屋の中に数匹の蟻が度々出現するというぐらいである。今後も友人を増やしていき、充実した留学生活を送りたい。

以上

神奈川県派遣交換留学生 近況報告書 (10月)

所属	経営学部	国際経営学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	タマサート大学 (タイ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Social Policy and Development program (Faculty of social Administration)		
報告書提出日	2019年 10月 15日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

語学力の向上、加えて食や文化など海外の物事を体験することで、日本と海外双方への理解を深めることが留学の目的である。目標達成のため、なるべく多く他言語を話す機会を作るために現地の友人を作り語学力の向上に努め、授業では理解できない点が無いよう、予習復習を怠らずに授業についていけるように心がけたい。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

語学に関して友人を作るという面では、自宅に招待してくれるような現地の友人ができ、問題なく交友関係を築けている。週に三日ほど同じ授業を履修しているため、授業後には共に帰宅している。授業中にグループプレゼンテーションがあったが、やはり自分の語学力が他の生徒と比べ劣っていると感じる箇所がいくつかあった。教科に関する学問的な長文もスラスラと話せるように、練習していきたい。その為に、配布資料や教科書を読むだけでなく、インターネットで分からない点を調べるなど予習の方法を工夫する必要がある。

1.3. 今月の学習・研修目標

学期末に近づくにつれて徐々にプレゼンテーションや自分の意見を発言する場面が増えてきた。瞬時に反応できることに越したことはないが、授業の流れを止めない為にも、あらかじめ学習する内容についての自分の意見を持つようにしておきたい。その為に、授業内容を自分なりに分かりやすく要点をまとめて覚えておく必要がある。

2. 学修について

2.1. 授業について

・ Management and Financing in Development and Welfare organization

毎回グループで話し合う機会を与えられ、各グループで特定の NPO に注目し、主に彼らがどのような活動をしているか、その活動を行うにあたりどのような取り組みが行われているかなどを掘り下げていくことに加え、組織を運営する際に活用できる手法を学ぶことのできる授業である。前回と異なる点は、毎週提出する必要がある記述式の課題が、グループではなく個人で取り組む形式に変化したことである。また、課題内容も特定の NPO についてではなく、授業内容で扱った組織を運営するにあたり用いられる手法を、例題に当てはめ、実際にどのようにしてその手法が組織内で使われていくかなどを記述していく応用問題のような課題が出されるようになった。授業内容がまとめられた資料や、他の生徒の提出した課題内容を授業用のサイト(Wix)を通して見られるため、授業内容は問題なく理解できている。

・ Globalization and Child's rights

実際に貧困地域での事例を挙げながら、UN convention により、どのように子供の権利が守られているのか、また、守られていくべきであるのかを教わっていく授業である。以前までは子供の権利に関する規則がどのように決められているのかや、子供という概念そのものといった主な概要について

て学んでいたが、最近の授業では、規則の内容について触れていくようになった。また、Weekly assignment が課せられ、毎週の課題提出が必須である。授業で扱ったパワーポイントが Google drive にアップロードされ、授業後に復習ができるため、授業内容は理解できている。

・ Social and economic development in Thailand

この授業はタイを含む東南アジアの国々に焦点を当てた文化や外的要因による経済、文化への影響を教わっている。授業では過去の研究結果や論文を用いて、国と国がどのように相互作用し、各国が自国の文化、経済を築いていったのかを学んでいく。前回は、11 世紀近辺のアジアの大陸上での国々の動きを学んでいたが、内容は海上貿易を頻繁に行う 16 世紀に移り、海を跨いだ国々の関わりについて学ぶようになった。授業内容が本格的な世界史の授業のようになってきたが、必要などころはノートをとっているため、歴史の中での人や物、文化の流れは大まかに理解できている。ただ細かい年号は覚えきれていない。

・ Development of Southeast Asia

新石器時代から現地に至るまで、国を形成するにあたり、何がタイに影響を与えて来たかを学ぶ授業である。また、過去の歴史において、タイ周辺の東南アジアの国々の変化も同様に扱い、東南アジアにおいてのヨーロッパによる植民地化などを通じたタイへの間接的な影響も学んでいる。ただしタイを中心としているものの、授業では歴史上での東南アジア全体の変化を幅広く扱っているため、瞬時に各地域で起きた出来事を時系列に並べて理解することは難しい。現在は航海が頻繁に行われた 15 世紀から第一次世界対戦の起こる前までの期間を学んでいる。

・ Academic writing

この授業では基本的な論文の記述方法と構成パターン、同時に、読者を惹き付けるために必要な技法を教わっている。毎週課題が与えられ、特定の物事について論文形式で記述し提出する必要がある。前回と違う点は、他生徒と協力して一つの論文を仕上げる課題が出され、導入(introduction)、本論(body sentence)、結論(conclusion)と協力して仕上げる必要性がでてきた点である。また、課題内容も同じ内容についての下書きを提出し、先生からの修正とコメントを受け、次の週に完成させ提出するといった、一つの話題について完成度の高い論文を求められるようになった。各々の提出した課題にそれぞれ先生がコメントや修正箇所を解説してくれるため、先生の求めているレベルの論文が書けるか否かは別として必要なことは全て理解している。

・ Analysis and Evaluation of Development and Welfare programs

この授業では社会問題に対して組織がとる活動に対し、その問題解決方法や結果をどのように評価、分析していくべきなのかを学んでいる。組織がプロジェクトを遂行させるにあたり、各プロセスにかかる時間と、現在の組織の所持している資源から同時進行可能なプロセスを推測することで、最も効率的なタイムスケジュールを作るなど、実際に組織を運営するにあたり役立つ内容を教わることができる。中間試験では純利益や利益最大化の計算などが必要となったが、しっかり復習をすれば理解できる内容であった。専門用語が多く、全ての言葉を暗記した訳ではないが、どのようにそれらの技法が組織運営に活用されるのかは理解できている。

2.2. 予習・復習・自習について

・ Management and Financing in Development and Welfare organization

教科書があるので、教科書を事前に読んでおく。教科書内に、exercise と書かれたグループディスカッションで使われる例題が載っているので、あらかじめ自分の意見をまとめておく。復習は授業用のサイト(Wix)から、今までの資料や他生徒が提出した課題内容も閲覧することができるので、授業後に分からない点があった場合はそちらを見るようにしている。

・ Globalization and Child's rights

授業がパワーポイントで進んでいく形式なので事前に授業内で取り扱う内容を予測して予習することは難しいが、復習に関しては自分の要点をまとめたノートを見返すことや、Google drive に授業内で取り扱われたスライドがそのままアップロードされるため、難なく復習ができる。

・ Social and Economic development in Thailand

予習は Facebook にて次回行う講義に関する記事が授業前にアップロードされるので、それを読んで大まかな流れは把握するようにしている。授業はパワーポイントで進んでいくため、要点をまとめたノートを取り、復習に活用している。パワーポイントは事細かに詳細が載っているが、全てをノートに取る時間はないため、ノートは重要な箇所のまとめという形になる。自分のノートを見返すことで復習ができる。

・ Development of Southeast Asia

あらかじめ授業内で扱う記事が Facebook にアップロードされるので、その記事を読んで授業で扱う内

容を予習をする。授業では質問がいくつかだされるが、あらかじめまとめておいた情報から答えなければならないため、記事から読み取った重要な点をノートにまとめておく。授業では、詳細を学ぶ訳であるが、上記の授業同様に全てをノートに写す時間はないため、要点をまとめるという形になり、そのノートを読むことで復習ができる。

・ Academic writing

授業で取り扱ったパワーポイントが、授業専用のサイト(Canvas)にアップロードされるので、それを見ることで復習が可能。実際は復習というよりも、学んだことと照らし合わせながら毎週の課題に取り組む形になる。

・ Analysis and evaluation of Development and welfare programs

授業で取り扱ったパワーポイントが Google drive にアップロードされるので、それを見返して復習をする。授業ではパワーポイントには載っていない詳しい説明を先生が書き足すことが多いので、授業ではその補足の説明をノートにまとめ、それを見返すことで復習ができる。

2.3. 語学力について

以前と比べ場数を踏んだことで、特に受け答えが少し上達し、自然な会話ができるようになった。また、タイやミャンマーといった東南アジアからの友人だけではなく、アメリカから来ているネイティブの友人もできた為、より自然な英語を使う場面が増え、相手が頻繁に使うフレーズを覚えるなどして語学力の向上に努めている。

問題点は授業に関する学問的な内容について話す場面で、スムーズに単語が出てこなかった経験をしたので、事前に授業で扱う内容を英語で調べておく必要があるところである。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	アパート
----	------

電気代や水道代の使用量によって異なるが、住むことに関しては基本家賃を含め1ヶ月に約 6700baht ほど支払う必要がある。食費は日によって異なるものの、贅沢をせずに安い屋台やアパートの食堂で食事を済ませると、一食 45baht ほどで収めることができる。大学の食堂は特に安く、一食 35baht ほどで済む。自分の場合は電気鍋と料理器具を購入し、アパート近辺の市場にて安く食材を購入し、自炊している。材料が安いと長期的に見ると自炊の方が安く済ませられるが自分の住む 3J court にはキッチンが無いと少し不便である。スマホのSIMに関しては“AIS”という会社と長期契約をし、月々 200baht で 100GB まで使える上(最初の月だけ 250Baht)、通信速度も問題ない。1ヶ月に1回 AIS のお店に行き、200Baht を支払う(Top up する)必要がある。洗濯に関して、洗濯機を使うのに一回 20Baht かかるため、節約のためにまとめて洗うか、自分で手洗いをするかどちらか選ぶ必要がある。自分の場合は服があまり汚れておらず、それほど汗もかいていない場合は手洗いで済ませてしまっている。

3.2. 課外活動について

平日は基本的に大学があるので、授業後に友人から遊びに誘われた場合、その友人がおすすめるレストランで食事をし、夕方まで周辺の店や屋台の並ぶ道を練り歩くような生活をしている。休日は毎週提出する必要がある Weekly assignment や、提出期限が決められている課題を早めに終わらせるように、自宅で課題に取り組んでいるが、特に課題が無い場合は、アパートから少し離れた場所にあるスーパーやデパートに足を運び、そこで販売されている食材の確認や、安売りの商品をチェックするなどしている。また、休日に友人から遊びに誘われた場合はなるべくそちらを優先するようにしているが、課題の提出期限が迫っている場合には課題を優先し、学業と交友関係を両立させるように心がけている。最近では三連休があったので、友人の車で国内の Pattaya beach という綺麗な海のある場所まで連れていってもらい、休日らしい休日を満喫することが出来た。

3.3. 現在までの感想

予想以上に課題が多く、忙しいと感じる時も多々あったが、その分課題を終わらせる度に達成感を味わえている。中間テスト期間には、友人の助けもありなんとか分からない箇所がない状態でテストに臨むことができた。また、中間テストと同じ期間に、それまでに授業内で取り扱った内容をまとめた中間レポートを提出しなくてはならない教科もいくつかあり、全てを同時にこなすことはとても大変であったが、地道に取り組むことでなんとか乗り切ることができた。その時期と比べると現在はか

なり落ち着いているように感じられる。タイでは到着後の 90 日以内に Visa extension(ビザの有効期限の延長)をする必要があるが、平日しか Immigration office が開いていないため、一日だけ大学を休みビザの延長をしに行った。午前中から Immigration office に向かい、Visa extension が終わる頃には夕方になっていたが、中間試験や中間課題、加えて Visa extension も完了し、ひとまずは重荷が下りた気がする。後に控える期末テストやレポートに向けて今後も気を引き締めて生活を送っていききたい。

以上